

十一、反動的労組台粉砕に関する件

提出 大阪金庫業労組台

説明 藤井福寿石

主 文

吾等の陣営の拡大と強化を阻害せんとする事を目的として資本主義打倒の意図の発揚を抑制しブルジョア政策の着回しに供し一切の打倒資本主義運動を阻害する反動的労組台を徹底的に粉砕せんとするものである

理由 省 署

実行 方法

一、茶話会、研究会、討論会、演説会等を開催して反切の正体を暴露すること

二、一切の日俸斗争に結びつけて不断的斗争を捲起すること

十二、臨時雇制度撤廃運動に関する件

提出 大阪金庫業労組台

説明 小坂徹雄君

主 文

臨時雇制度撤廃運動を起さんとするものである

理由 省 署

実行 方法

一、決議を採り各会社工場等につき一揆省を促すと共に

三、日俸斗争と結んで兵衛の換起に努むること

十三、労組台戦線統一に関する件

提出 大阪財合会

説明 熊本共市君

主 文

吾同盟の戦線統一を針に立脚し、更に現下の労働情勢に順應して一層効果的に本旨の徹底を計るため其具体的方策を決定し之を實踐しようとするものである

理 由

崩壊期に立たる日本資本主義は最後の力も盡きにあらゆる精力を動員して新勢力に圧迫し、あるかゝる情勢に於て吾々の任務は確固としてゆるぎなき陣容を築き大衆の圧力を以て之を克服し一君万民の新日本建設に邁進する事である此には客観的情勢の正しき把握なし以て一切が及資本主義勢力中の代表的団体である労組台の分散せる陣容を整備統一する事は極めて重要な事である吾々は此の重要な事柄の前に立つ時過云に於ける亜流マルクス主義共が吾々に対してなせる悪言中傷に對しては言ひ得ぬ不満と奮激を感じるものではあるが、かゝる感情に取らぬ此の聖戦を寸断し休む事は断じて願はずである故に吾々は一應は各労組台に對して資本主義打倒の爲に絶対的の戦線統一に對しての誠意を礼す必要がある然して其の誠意を有する団体とは小異をすて、大同につき目的の貫徹に邁進しなればならぬ

然しなから吾々過云の経験に依つて見るも何れも団体にしては一應は大義を介し此の種の提唱を決議